

赤ちゃん=よこはま動物園ズーラシア提供



赤ちゃん誕生

よこはま動物園ズーラシア(横浜市旭区)で、東南アジアのボルネオ島絶滅危惧種に指定されてに生息。国際自然保護連盟のボルネオオランウー合(IUCN)のレッドタンの雌の赤ちゃんが誕生した。同園では初の繁殖で、市内では野毛山動物園で13動物園で33頭が飼育されている。

一般公開は来年4月、赤ちゃんは誕生してから

スパニッシュ・コネクション コンサート収益と 義援金、10万円寄託

千代田区の毎日ホールであった、音楽ユニット「スパニッシュ・コネクション」のチャリティコンサート

(エムティ企画主催、毎日メディアカフェなど協力)で、収益と会場で寄せられた義援金

計10万円が24日、毎日希望奨学金に寄託された。同奨学金は、東日本大震災で保護者を亡くした子どもたちに給付されている。



チャリティコンサートに出演した伊藤芳輝さん(中央)、平松加奈さん(左)、吉見征樹さん=千代田区の毎日ホールで

ら、ユニセフなどの支援機関は、現在と同じように活動していました。ただ当時は、学者や支援の専門家が「この地域に予防接種や教育のニーズがある」と決めて、そのニーズに応じて支援をする、という考え方をしていました。それが1980年代ぐらいから発想の転換が始まった。ニーズの

係なく、誰もが生きる権利健康に育つ権利があるという考え方に変わりました。その考え方が条約の採択につながり、保健や医療、教育制度の整備など国の責任を明確にしたので

—この25年間で変わったことは?

◆世界の子どもを取り巻く

日本ユニセフ協



なかい・ひろまさ NGO勤務をへルツェゴビナ人道支援や南アフリカに国連ボランティアとして参加。1997までユニセフ職員としてミャンマー、リアなどで勤務した。

況を示す数字、また多くの子どもが厳しい環境にあり、条約が光を当てているのは、そんな一人一人の子どもたちだ。日本でも、虐待やいじめなど問題は深刻なまま。一人でも権利が守られていない状況があるなら、社会の仕組みを直さないといけない。中井さんの言葉が印象に残った。

有馬記念、直前に予想

28日の中央競馬「第59回有馬記念」を前に、「有馬記念直前予想」が24日、千代田区二ツ橋1の毎日新聞社1階「毎日メディアカフェ」で開催された。有馬記念出走の有馬力が対戦した天皇

スパニッシュ・コネクションはギタリストの伊藤芳輝さん、バイオリンの平松加奈さん、インドの打楽器の伊藤芳輝さん、バイオリンの奏者、吉見征樹さんの3人で結成。21日のコンサートでは「リベルタンゴ」などを演奏し、100人余りが心地よい音楽に聴き入った。

賞、ジャパンカップなどのレース映像を見ながら、各馬の力を分析した後、4人がそれぞれのエピファネイア、増永記者と目黒さんは宝塚記念優勝馬でファン投票1位のゴールドシ

本紙の競馬欄(毎週金、土曜日夕刊)は1996年に一般紙で初めて設けられた。丹下さんの詳しい予想は26、27日夕刊に掲載する。

【斗ヶ沢秀俊】

樹さんの3人で結成。21日のコンサートでは「リベルタンゴ」などを演奏し、100人余りが心地よい音楽に聴き入った。

カップ2着のジャスタウェイ、松沢記者はジャパンカップを圧勝したエピファネイア、増永記者と目黒さんは宝塚記念優勝馬でファン投票1位のゴールドシ

第69回日書展入賞者 津子(練馬)児玉仙雅(町) (1月4~10日、東京都) 田▽特選▽児玉嵐揚、美術賞。毎日新聞社後援、東京女子、金子皇宮

有馬記念の予想を語る(右から)丹下さん、松沢記者、増永記者、目黒さん

毎日メディアカフェ